

防衛省

衛星通信、商用画像衛星の利用等

平成24年度予算額20,780百万円（平成23年度予算額19,061百万円）

防衛省防衛政策局

防衛政策課

03-3268-3111（20368）

事業の内容

事業の概要・目的

○自衛隊の通信所要は、一般社会における通信と同様に増大傾向にあり、高速移動体との通信を含む画像や映像等の迅速な伝送が必要なため、衛星通信機能の向上を図ります。

事業イメージ

- Xバンド衛星通信中継機能等の整備運営事業
 - ✓ 平成27年度に現用通信衛星（スーパーバードB2号機、D号機）の設計寿命が到来するのに伴い後継衛星を整備。
- Xバンド衛星通信関連事業（各種地上局の整備・改修）
- 通信衛星の中継機能の借上げ（通信機器の維持・整備経費を含む。）
 - ✓ 防衛省・自衛隊では、基幹網の通信回線の他に艦艇、航空機等の移動体との通信手段として、様々な通信衛星（スーパーバード・JCSAT衛星、インテルサット衛星、インマルサット衛星）を使用
- 画像データの受信等（約80億円）
 - ✓ 商用光学衛星（WorldView- I ,WorldView- II）及び商用SAR衛星（TerraSAR-X,RADARSAT-2）からの画像データを受信
- 気象衛星情報の活用
 - ✓ MTSAT（ひまわり）、NOAA（米国の気象衛星）からデータを受信。広範囲にわたる気象情報を常時取得することなどが可能であり、航空機の運航及び訓練の安全に活用

宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査研究

平成24年度予算額1,918百万円（平成23年度予算額1,033百万円）

防衛省防衛政策局
防衛政策課
03-3268-3111（20368）

事業の内容

事業の概要・目的

○情報収集能力やリアルタイムでの情報の共有及び指揮命令を迅速に確実なものとするC4ISRの機能強化のための調査・研究を実施する事業です。

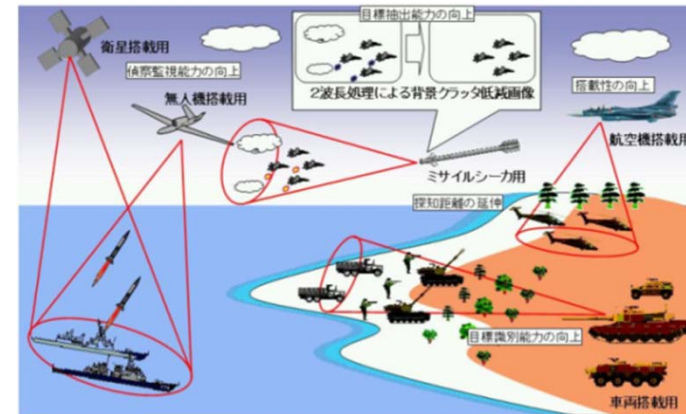
○早期警戒機能の要となる高い感知・識別能力を持つ赤外線センサにも適用しうる2波長赤外線センサの技術に関する研究や、衛星を含めた将来装備システムが防空システム全体に与える効果等を評価できるシミュレーションの試験を実施しております。

(注)

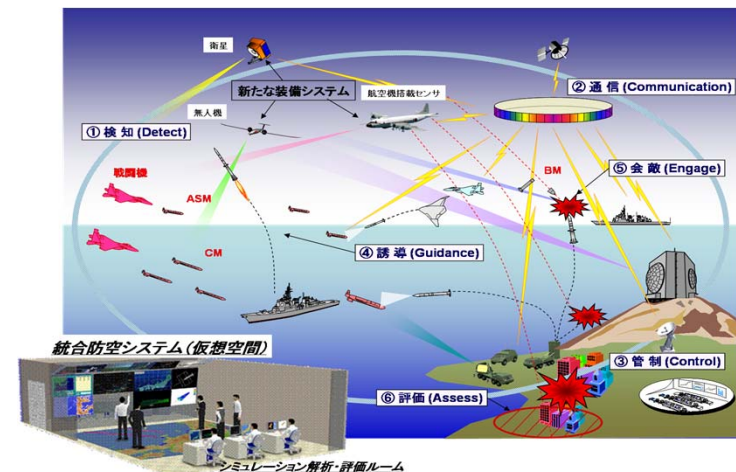
C4ISR: Command, Control, Communication, Computer, Intelligence, Surveillance, Reconnaissanceの略で「指揮、統制、通信、コンピュータ、情報、監視、偵察」という機能の総称

事業イメージ

2波長赤外線センサの研究



統合防空システムシミュレーションの研究



弾道ミサイル防衛（BMD）宇宙関連

平成24年度予算額6,088百万円（平成23年度予算額21,249百万円）

防衛省防衛政策局

防衛政策課

03-3268-3111（20368）

事業の内容

事業の概要・目的

○弾道ミサイル防衛システムの整備を推進しております。

○弾道ミサイル攻撃への対応に係る事業のうち、宇宙に関する事業（BMD用能力向上型迎撃ミサイルの日米共同開発、FPS-5レーダーの整備・維持など）を宇宙関連予算として整理しています。

事業イメージ



- イージス艦へのBMD機能の付加
- FPS-5レーダーの維持・整備
 - ✓ 宇宙空間を飛翔する弾道ミサイルを監視するセンサの維持・整備。
- 自動警戒管制システムへの弾道ミサイル対処機能の整備
- BMD用能力向上型迎撃ミサイルの日米共同開発
 - ✓ 防護範囲の拡大、迎撃能力の向上を図るとともに、将来の弾道ミサイルへの対応を可能とするため、SM-3ブロックIA型誘導弾の後継となる艦載型の能力向上型迎撃ミサイルを日米共同で開発。
- BMD器材の改修経費